

Hi!がしま

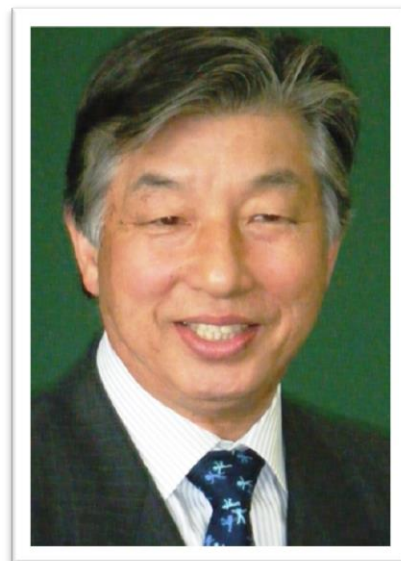


鹿嶋市国際交流協会

第35号 2018年12月 発行

「設立 20周年 おめでとうございます」

鹿嶋市国際交流協会
会長 溝口輝明



私達の敬愛する鹿嶋市国際交流協会も「設立20周年」を迎えることが出来ました。私は、第四代 会長の溝口です。会員の皆様と共に祝い申し上げます。

発足の歴史は、「2002年 サッカー ワールド カップ」鹿嶋開催に向け1998年設立されました。

当時の鹿嶋は、観光も含め外国人が来られることは極めて少なかったと思います。創設当初は、行政・地域の学識者と地域有力者の皆様方のご尽力が大きな支えとなった訳です。日本初ワールドカップ開催時「来訪者に簡単な挨拶が出来るよう」語学を皆で学びましょうとボランティアを募り組織化したのが協会の基礎となり、現在では863人にも及ぶ外国人が、鹿嶋市内において私達と共に住んでおります。

協会の果たすべき役割は「異文化共生」のけん引者として重要な位置にあると思います。2020年開催されるオリンピック・パラリンピックでは、サッカー競技が鹿嶋サッカースタジアムで開催されます。来日される皆様に優しい心づかいで「ようこそ鹿嶋へ」とお迎えしたいものです。

私達協会の総力を挙げて発信できるよう心がけたいと思います。

歴代会長

期間	年度	会長
設立 ～ 3年目	1998年～2000年	中村 賢一
4年目 ～ 6年目	2001年～2003年	崎山 正起
7年目 ～ 12年目	2004年～2009年	湯谷 昭男
13年目 ～ 現在	2010年～	溝口 輝明

鹿嶋市長 錦織 孝一様 祝辞

鹿嶋市国際交流協会が設立20周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

溝口会長をはじめ、鹿嶋市国際交流協会の皆様におかれましては、市内小学校における国際理解授業へ御協力いただいているとともに、世界食文化交流会、国際交流バスツアー、外国人によるスピーチコンテストを実施されるなど、日頃から鹿嶋市の国際化推進に関し、多大なる御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、あらゆる面でグローバル化が進み、地域社会におきましても国際化への対応が重要なものになっております。本市においても、2020年東京オリンピックのサッカー競技会場として県立カシマサッカースタジアムが決定され、多くの外国人が訪れることが予測されます。この方々をお迎えするにあたっては、市民の皆様一人ひとりが外国の文化に触れ、互いの価値観や文化を理解し、認め合う機会をより多く設けることが必要であると考えており、国際交流協会の皆様の役割に期待しております。

現在、本市には、850名を超える様々な国や地域の方々が暮らしています。市といたしましても、国籍を問わず、この地域に暮らす皆様が、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進していきたいと考えております。今後とも皆様の御理解・御協力をお願い申し上げます。

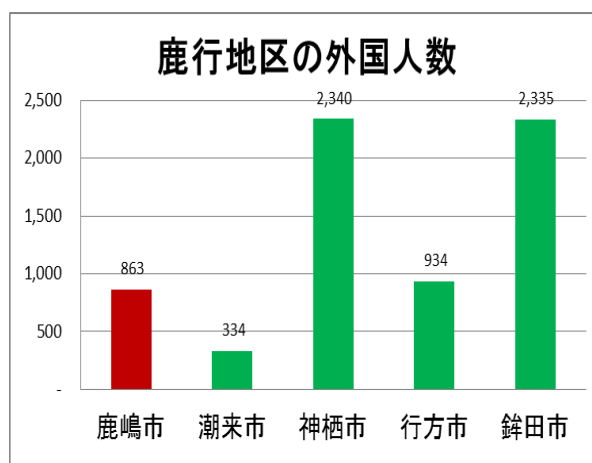
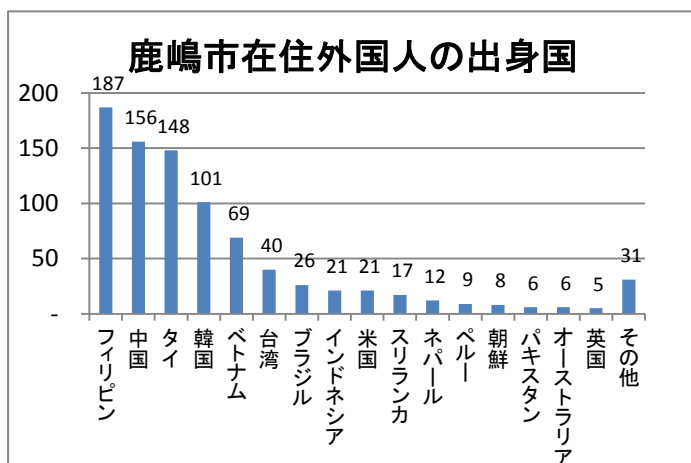
結びに鹿嶋市国際交流協会の益々の御発展と御活躍を御期待申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。



鹿嶋市長 錦織 孝一

茨城県と鹿嶋市在住外国人のデータ (茨城県県民生活環境部国際交流課調べ/平成30年4月末現在)

	人口(人)						
	総数	0～5歳	6～15歳	16～18歳	19～60歳	61～64歳	65歳以上
茨城県	61,969	2,557	3,336	1,201	51,542	1,390	1,943
鹿嶋市	863	19	35	90	640	25	54



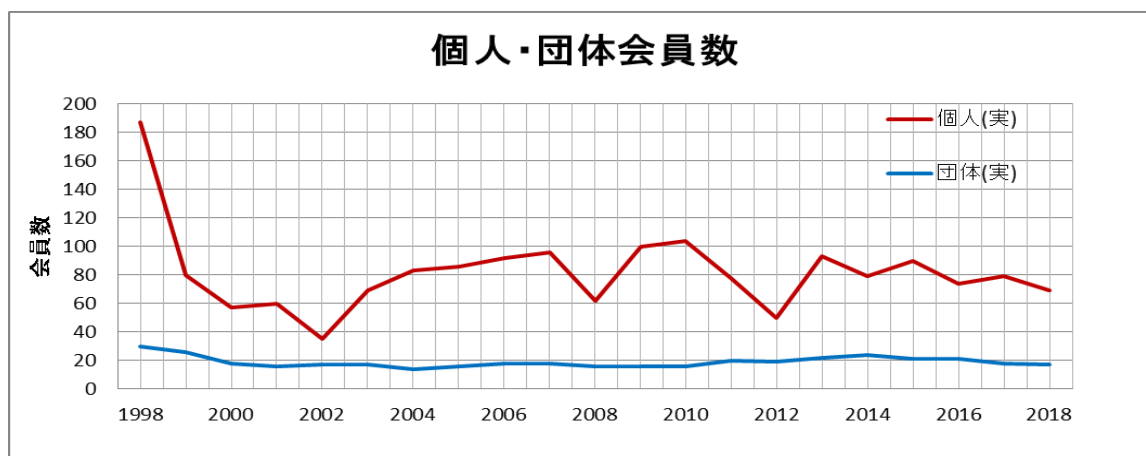
初期の主な出来事

1998.1.16	第1回鹿嶋市国際交流協会設立準備会
1998.2.27	設立総会
1998.6.5	初年度総会開催
1998.10.28	会報 「Hi! かしま」 創刊号発行
2002.2.18	第1回外国人による日本語フリートーキング開催 (第6回以降は、外国人による日本語スピーチコンテストに改称)

これまで実施した主な活動（事業名のみ）

	交流協会主催の主な事業（赤文字は、現在も継続実施中）
語学教育	英会話・ポルトガル語・スペイン語・韓国語・中国語・ドイツ語講座 街角ボランティア養成、日本語講師養成講座
交流	納涼の夕べ、交流まつり、鹿嶋まつり、バレーボール大会、中国引揚者クリスマス会、 バスツアー 、 交流サロン 、交流パーティー、ソフトバレー大会、サウナ料理、納涼パーティー、 ピンポンソウ、サマーランド、 て～ら祭 、 世界食文化交流会 、U17カンボジア代表 交流会、YCE 交流会支援、総合防災訓練語学支援
広報	時事セミナー、 広報誌 、 HP作成 、講演会、外国語マップ作成
国際理解	国際理解講座、 国際理解教育 、ワールドカップ研修会、 外国人による日本語スピーチコンテスト 、 生徒への日本語支援
関連事業	団体助成事業、 51号ハイパス花壇 、 三市交流協会連絡会 、西帰浦市訪問、
対外活動	W杯街角ボランティア、四川省地震募金、震災炊き出し、

鹿嶋市国際交流協会の会員数（会費納入者数）



設立当初を知る方の座談会

開催日	2018年10月17日 18時～20時
場所	鹿嶋まちづくり市民センター 研修室 202
参加者	教育委員会 教育総務課長 大沢 英樹 (設立当初の事務局担当) 国際交流協会 会長 溝口 輝明 // 副会長 西野 節美 // 成田 ソヨン (韓国) // 宋 立杰 (中国) // 桜井 ワティ (インドネシア) // 溝口 恵子 // 溝口 栄子 // 事務局 田中 文雄

事務局；本日は、記念誌座談会にお集まりいただきましてありがとうございます。

大沢さんは設立時の事務局、西野さんは設立準備委員、宋さんとワティさんは、第一回フリートーキング発表者、ソヨンさんはその司会進行と、皆さんそれぞれ発足当初からかかわってこられた方々ですので、経験を踏まえて20周年を迎えた国際交流協会について語って頂きたいと思います。

国際交流協会設立のいきさつ；

大沢さん；2002年のサッカーW杯鹿嶋開催が決まり、国際化に対応したまちづくりの為に国際交流協会の必要性が高まり、当時の五十里市長のもと各関係団体の協力を得て設立されました。

西野さん；商工会から中村さんに初代会長になって頂いたが、発足当時はW杯を控えて、委員会活動を中心に精力的に活動が展開されていましたよ。

大沢さん；当初は、会員数、予算規模ともに今より大きく、語学講座や交流イベント、会話集など色々新しいことに取り組みました。活気にあふれていましたね。

ソヨンさん、宋さん、ワティさんは、国際理解授業でも協力してくれています
(西野)



スピーチコンテストの開始

(当初は、フリートーキング)；

西野さん；県のスピーチコンテストにならって、鹿嶋でも発表の機会を作ろうという事で始まりました。

表彰の仕方など工夫を加え、発表者は、日本語教室に来ている人などにお願ひしました。

宋さん；最初の発表だったので緊張しましたが、頑張ってやりました。

ワティさん；子供の面倒を見ながらだったので大変でしたが、1ヶ月くらい練習しましたよ。

大沢さん；これまで17回開催されたということは、延べで約170人の外国出身者が発表しており、継続できていることは素晴らしいと思います。

恵子さん；これは財産だと思うので、発表者の同窓会みたいなものが出来て、繋がりを維持できると良いなと思いますね。

国際交流協会の活動；

事務局；最近の会員数は、日本人、外国人ともに伸び悩んでいて、活動できる人の高齢化が進行しています。

大沢さん；それは、どの団体でも同じ悩みを抱えている問題ですね。

会長；最近の外国から働きに来ている人などは、母国の情報がネットで簡単に手に入るので、日本語も必要としないし、つながりも持とうとしない傾向があるようです。

ソヨンさん；私は交流協会に入って日本人とのつながりなど良いことがあったが、今の若い人は必要性を感じないみたいです。

宋さん；最近の人は、職場では中国語だけで済むので、日本語を勉強しようとしません。

また、中国ではカード支払いで何でもできるので、会話も少なく、すごく変わりました。

ワティさん；日本の生活に慣れたので、同じ国の人とのネットワークは無いです。他の国の人と同じようです。

ソヨンさん；母国の団体はあるけど、制約がいろいろあり、お金も必要みたいで、入っていないですね。

西野さん；外国の人が何を望んでいるのか、聞いてみることも必要ですね。

会長；いろいろ世の中も人も変わっているが、言葉が通じなくても伝えようとする気持ちがあれば、親しくなれるものです。国際交流協会の活動は、これからの社会には重要な役割を果たしていると思うので、外国からの人の意見も取り入れながら、人の集まりやすい魅力的な会にしていきたいと思います。

恵子さん；お金がなくても頭を使って、良い活動にしていきたいです。

西野さん；定例会の開催日や進め方も、集まりやすい日として、参加しやすい活動になるよう工夫していきたいです。



韓国の高校生に通訳した時、
日本ではどうしてスマホを持つ生徒が少ないの？
お金がないの？ と聞かれたので
違うよ！と教えてあげました。(ソヨン)

鹿嶋で活躍する外国人に聞きました！

「Youは何で鹿嶋市に！？」

Rehling Werner レーリング・ウエルナーさん

ドイツ出身

○いつ日本に来ましたか？

大学を卒業したら、遠い国に行って見たいと思いました。うまくいかなければ、まあ、帰ればいい。ということで、英独の翻訳者として日本の会社と契約して東京につきました。182 cmの身長で、ドイツではあまり目立ってなかったが、日本ではとにかく大きい！ここがいいと思いました。それは1979年でした。



○今だから言える日本に来てからの苦労話は？

あれからほぼ40年。結婚しても、子供が生まれても、背が縮んでも、まだ日本にいます。1997年に鹿嶋に越してきました。こんなに長くなるとは思っていませんでしたが、まだ面白い、まだ発見がある。最初、仕事の内容を覚えるのは簡単ではありませんでした。また、勘違いを繰り返しながら日本語を字が読めるまで進むのも一苦労でしたが、ずっと文化の違う国に暮らしているせいか、歳のせいか、自分の考えも変わってきました。つねに日本のことも、故郷も両方の目で見えるようになってきたように思います。

○日本（鹿嶋）の好きどころは？

日本は治安が良く安心して暮らせることは言うまでもない。車社会の鹿嶋ではそのうえ、都会に比べて安くていい物の買い物も当たり前。でも、私にとっては日本の田舎の綺麗さが一番ですね。湖での散歩、ドイツには見られない田圃の風景。とっても気に入っています！

○これからしょうらいやりたいゆめ：

今まで国内を旅行するチャンスはあまりなかったもので、これからはいろいろ行きたいと思います（温泉もふくめて）。

○今年20周年を迎える国際交流協会に一言

鹿嶋市に外国人と日本人の住民をつなぐ国際交流協会は情報の流れ、または互いの理解を深めるためにふれあいの機会を作ったりして、ありがたい存在になっています。とうとう20周年、おめでとうございます！



愛娘さんとの写真

鹿嶋で活躍する外国人に聞きました！

「Youは何で鹿嶋市に！？」

しゅうすい
遠藤 許穂さん 中国出身



○いつ日本に来ましたか？（鹿嶋市に）

1988年10月日本語学校の就学生として来日しました。
今年で30年！鹿嶋に2004年来ました。

○今だから言える日本に来てからの苦労話は？

“苦労”と思ったことは、今考えたら全てが、試練の連続でした。

最初の会社は、CADで電気設計図を作成する仕事でした。どんなに内容をチェックして提出しても、3回以上の直しは必ずありました！「直しがあつたら一回にまとめて言いなさい！」といつも頭にきていました。しかし、今だからわかるのは、会社の上司は最高の商品を作るため、日々、自分の限界に挑戦していたということです。

最高品質の日本製が、世界中の人々に愛され理由はここにあることが分かりました。創造、否定、再創造！全ての“苦労”は最高の笑顔のためにあるのだということが、今になれば、よく理解できます。

○日本（鹿嶋）の好きなところは？

計画性ある国。小さなことから大きなことまで、綿密な計画するうちに実行することは大好きです。無限性を見せてくれる鹿嶋が大好きです。

○今年20周年を迎える国際交流協会に一言

現代社会20年の発展はとても速い、鹿嶋市国際交流協会もこの発展ルールに乗って、未来の20年で新たな国際交流を開拓できるように！



2011年2月27日鹿嶋漢語角誕生！

外国人による日本語スピーチコンテスト もうすぐです！



2002年から始まったスピーチコンテストは、第18回目を迎えて、2019年2月17日（日）に開催します。これまで沢山の感動を届けてくれた発表者の皆さんありがとうございます。

今年も、楽しく心温まる発表が期待されますので、沢山の皆様に来場して頂きたいと思います。

入場は無料です。



その他の活動紹介(今年度実施分)



バスツアー・平塚七夕と海ホテル



世界食文化交流会フィリピン料理



て～ら祭に出店

2020オリンピックでのオモテナシ

サッカーの試合が鹿島スタジアムで行われることが決まり、大会と都市ボランティアの募集が行われています。ワールドカップの時は、国際交流協会として活動しましたが、オリンピックでは茨城県が運営する都市ボランティアがお客様のオモテナシをすることになっています。

従って、国際交流協会が主体的に活動できる場面は少ないようです。まだ時間はありますので、検討は続けますが、オモテナシに貢献したい方は、ぜひ都市ボランティアに応募してください。



いつでも会員募集中！
気軽にご連絡ください
年会費 個人 1,000 円
団体 5,000 円

鹿嶋市国際交流協会

鹿嶋市宮中4631-1 まちづくり市民センター内
Tel & Fax 0299-82-2241
E-mail kokusaikoryu@sopia.or.jp
[ホームページもありますので、ご覧下さい。](#)

